

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 7 番

氏名 村武 まゆみ

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 認知症施策の推進について

浜田市の新規要介護者の状況を見ると、要介護の原因疾患の1位が男性女性とも認知症となっている。国では今年6月に「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が策定された。浜田市においても、認知症の対策をしっかりと取り組む必要がある。また現在の浜田市高齢者福祉計画は令和5年度までとなっているので、検証の意味も含めて以下の質問をする。

(1) 認知症に対する正しい理解の普及について

- ① 国の認知症基本法の基本的施策の①として認知症に関する理解の増進とある。その手段の一つとして認知症サポーター養成講座がある。浜田市高齢者福祉計画には令和5年度末に8,000人の目標値となっている。昨年7月で7,755人であったが、今年度の実績について伺う。
- ② 今年度のキャラバンメイトさんの会議について回数と内容について伺う。
- ③ 子どもへの理解の普及についての状況を伺う。

(2) 認知症予防活動の推進について

- ① 認知症予防の一つとして、聴覚が低下すると、社会や人との関わりが少なくなり、その結果認知症のリスクを高めると言われており、近年ではヒアリングフレイルが注目されている。ヒアリングフレイル対策の現状について伺う。

(3) 認知症になっても暮らしやすい地域づくりと支援体制の充実について

- ① 暮らしやすい地域づくりと支援体制の充実として認知症カフェがある。現状についての所感を伺う。

(4) 認知症施策を進めていく体制について

- ① 認知症施策を進めていく上で認知症地域支援推進員の役割は重要である。現在の体制で足りているのか伺う。

2. 浜田市の介護の現状について

(1) 浜田市社会福祉協議会が行っている介護保険事業について

浜田市社会福祉協議会が現在行っている「野原デイサービスセンター」の通所介護事業並びに、訪問入浴事業を令和6年3月31日付けで廃止する報告、説明を受けた。

- ① 浜田市社会福祉協議会が行っている訪問介護事業のサービスを受けておられる方の、5年前と現在の利用者の推移状況について伺う。
- ② 浜田市社会福祉協議会が行っている通所介護事業のサービスを受けておられる方の、5年前と現在の利用者の推移状況について伺う。
- ③ 浜田市社会福祉協議会が行っている訪問入浴事業のサービスを受けておられる方の、5年前と現在の利用者の推移状況について伺う。

(2) 介護サービスに対する浜田市の考えについて

- ① 高齢化が進む中、住み慣れた地域で暮らし続けるには今後はより重層的支援が必要と考えるが、浜田市の介護サービスに対する考えを伺う。
- ② 中山間地域であり過疎地域である浜田市において、介護保険という公的サービスだけでなく地域独自のサービスも今後は必要と考えるが浜田市の考えを伺う。

以上